

ワールドステイクラブの旅 報告

早春のウィーンで 音楽鑑賞と観光

リーダーから

- 【期間】2020年2月27日(木)~3月10日(火)
【費用】航空運賃:165,000円、地上費:200,000円
*ウィーン滞在中のホテル、送迎および観光費用他
(乗り物代、食事代、音楽代、その他)は自己負担
【リーダー】別にガイドが案内をしました。
【ガイド】ウィーン1名、ザルツブルグ1名
【食事】毎朝食、昼食1回、夕食1回を含む。
【宿泊】前半;グラーベン(シュテファン大聖堂極近)
後半;ロイヤル(シュテファン大聖堂極近)
【参加者】会員2名
非会員2名
【音楽鑑賞】盛りだくさんのメニューでした
1.楽友協会;ウィーン少年合唱団 特別コンサート
2.ペーター教会;カルテットによる教会コンサート
3.コンツェルトハウス;ウィーン交響楽団
アルゲリッチのピアノ コンサート
4.オペラ座;バレエ
5.オペラ座;オペラトゥーランドット
6.フォルクスオーパー;マイフェアレディー
7.王宮教会;ミサとウィーン少年合唱団の聖歌隊
8.楽友協会;佐渡裕指揮
トーンキュンストラー交響楽団

ウィーンの旧市街地はローマ時代からの古い歴史をもっています。当時の国境がドナウ川で、防衛駐屯地の一つがウィーンでした。当時は、Vindobona と呼ばれ、紀元1~4世紀には街でした。駐屯兵士は6千人で、要塞はシュテファン大聖堂の西側です。

ローマ滅亡後の民族移動を経て、13世紀から600年間は権勢を誇ったハプスブルク家の拠点でした。



WSCメンバー2名とリーダーが所属するクラブからの女性2名、計4名でした。少人数での催行でした。例年ですと3月上旬の出発ですが、3月10日からウィーンでは大規模な学会があり、ホテル予約が困難なため2月末の出発に繰り上げました。

日本では、コロナ感染が取りざたされていましたが、ウィーンではさほど騒がれていませんでした。インスブルックで、イタリア人が発症のニュースがあるぐらいでした。ところが、日を追うごとにウィーンでも感染者が増え、3月中旬より美術館などの閉鎖、オペラ座でのオペラやコンサートが中止となり、出発を早めたことが幸いしました。

数多くのオペラ、コンサートを観賞でき、参加の皆さんは大変に感激されました。去年は希望者が少なく残念ながら見送りましたが、今回は少人数催行でした。その甲斐があり何事もなくよかったですと思いました。

ウィーンツアー満喫しました

(東京都北区)

コロナウイルスでの周囲の心配を気にしつつも、ウィーンの楽しい旅行でした。市電や地下鉄での観光、自由時には一人で市立公園を散策、ショッピングをすることもできました。希望していたウィーン動物園にも、リーダー同行で実現しました。オペラ座のトゥーランドット観劇、楽友協会ではウィーン少年合唱団のコーラス、佐渡裕指揮の演奏を堪能しました。

ヴァッハウ渓谷は4人でのバス観光でした。ドナウ川に沿っていくつもの古城や修道院が建ち、ブドウ畑がありました。昼食には白ワインをいただきました。

コロナに感染することなく3月10日に帰国しました。その後は、渡航不能、ラッキーでした。リーダーの惜しめない心配り、細かいご配慮でのよい旅でした。